

みんなで支えあう 丹後こころの支援ネットワーク通信

～ひとりじゃないよ ともに生きよう～

ネットワーク事務局（京都府丹後保健所）

平成27年6月22日発行

No.7



天気が変わりやすい季節になりました。体調管理に気をつけたいものです。ともいきネットワークでは、梅雨のいやな気分を吹き飛ばす勢いで取組を行っていきます。

「京都府自殺対策に関する条例」が施行されました！

自殺の危機は誰にでも発生し得ることで、

悩みを抱えた方の孤立を防止し、すべての府民が地域社会の一員として共に生き、共に支えあう社会を実現するため、制定されました。（平成27年4月1日施行）



府等の責務について明記されています

- ・府：国、市町村、府民等と連携して、自殺対策を総合的かつ計画的に実施する
- ・府民：自殺対策に関心と理解を深めること、また自殺防止に関する活動を自主的に行うこと等に努める
- ・事業主：雇用する労働者のこころの健康の保持を図るために、必要な措置を講じること等に努める
- ・自殺対策関係団体等：自殺対策を積極的に実施すること、また相互の連携を図ること等に努める

3月1日を「京都いのちの日」と定め、普及啓発など自殺防止等の取組を実施します。
ご協力をお願いいたします。



みんなで温かい社会をつくっていきましょう



かかりつけ医等うつ対応力向上研修のご案内

自殺の背景には、健康問題や多重債務、失業など様々な要因がありますが、自殺対策は未然防止とともに、自殺未遂者への状況に応じた事後支援も大切です。

今年も、講師に京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学 成本 迅 先生をお迎えし、「自殺未遂者への支援」についてご講演いただきます。医師、看護師、行政、福祉関係者等を対象に、より充実した支援が行える仕組みづくりと地域における支援体制について考えたいと思います。

日頃はなかなか聞けないお話です。
ぜひご参加をお願いします*

参加費
無料

日時 8月1日(土)午後5時～6時半
会場 野田川わーくばる(与謝野町)
申込 京都府丹後保健所
福祉室(0772-62-4302)まで

「ゲートキーパー研修」講師派遣します！

ゲートキーパーって？

悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る。それが自殺予防対策における「ゲートキーパー」です。

誰にも相談出来ないまま1人で悩んで追い込まれていく命を助けるため、できるだけ多くの方にゲートキーパーになっていただきたいと考えています。講義の中では「心の健康」の話に触れるため、職場内のメンタルヘルス対策の研修として位置づけられる内容となっています。

派遣料
無料

職場研修の一環として
取組をお願いします。
ぜひ、ご検討ください*



詳しくは事務局へお問い合わせください

職場にこころの専門家を派遣します！

こころの健康づくりや自殺予防のために、専門家（臨床心理士）が職場を訪問し、管理監督者や従業員の方にメンタルヘルスや自殺予防の基礎知識等の研修を行います。

支援内容

- ・従業員等を対象としたメンタルヘルスクエア研修
- ・管理監督者を対象とした助言やコンサルテーション
- ・自殺予防研修 等々..

※個人を対象としたカウンセリングはできませんのでご注意ください。

費用は無料です。年2回の利用が限度です。

詳しくは京都府精神保健福祉総合センター(075-641-1810)へお問い合わせ下さい。



京都府自殺ストップセンター「LINE 相談電話」開設

誰にも話せなかったその思いを相談できます。



15歳から34歳の若年層の死因第1位は「自殺」です。そうした状況を踏まえ、若い世代への相談体制を強化するため、新たにLINEによる相談電話が開設されました。死にたいほどの悩み、臨床心理士や精神保健福祉士などの専門家に無料で相談ができます。問題に応じて、様々な専門家とチームになり、問題解決を一緒に考えます。ぜひ、気軽にご相談ください。



←QRコードから「友達登録」のうえ、無料通話機能をご利用ください。

★相談日時：月曜～金曜（年末年始、祝日は除きます）
午前9時から午後4時30分まで

<注意事項>

- ※「トーク」によるメール相談は行っておりません。
運営上「既読」になることがありますが、返信はできません。
- ※「友達」登録後、センター側での登録が完了していない場合や開設時間外は、呼び鈴は鳴りますが通話できません。

みんなで支えあう丹後こころのネットワーク事務局（京都府丹後保健所）

TEL：0772-62-4302

FAX：0772-62-4368

メール： tanshin-ho-tango-fukushi@pref.kyoto.lg.jp